

第1 令和6年度（2024年度）当初予算

令和6年度（2024年度）当初予算は、知事の改選期を迎えることから、骨格予算として編成しています。

具体的には、人件費などの義務的経費や、「平成28年熊本地震」・「令和2年7月豪雨」・「感染症」への対応など、県民生活への影響や緊急性の観点で、年度当初から着手する必要がある経費を中心に計上しています。

第 1 令和 6 年度（2024 年度）当初予算

（１）予算編成の基本的な考え方

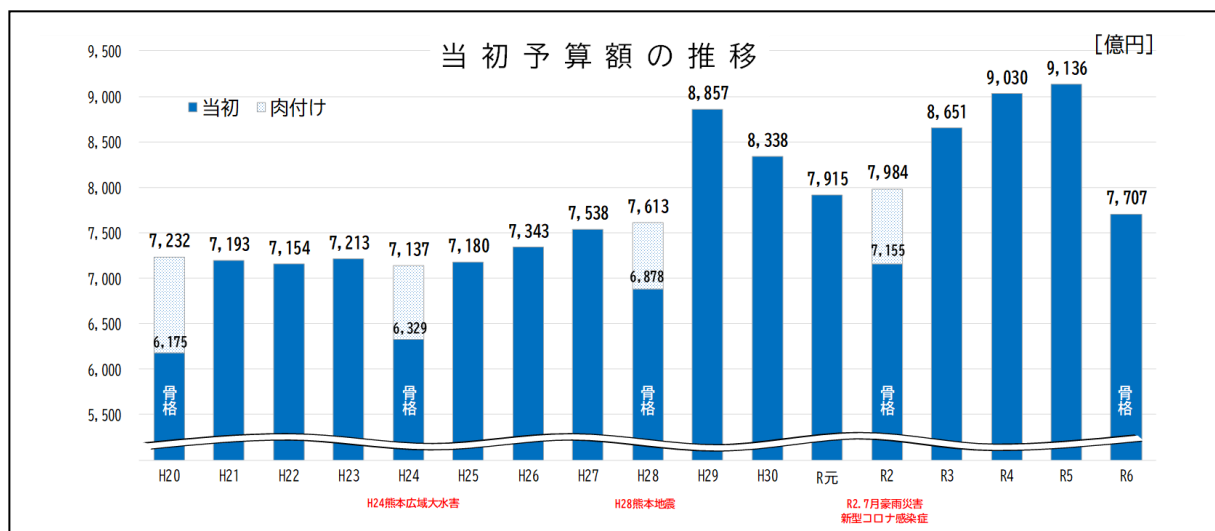
令和 6 年度（2024 年度）当初予算は、知事の改選期を迎えることから、骨格予算として編成しました。具体的には、人件費などの義務的経費や、「平成 28 年熊本地震」・「令和 2 年 7 月豪雨」・「感染症」への対応など、県民生活への影響や緊急性の観点で、年度当初から事業に着手する必要がある経費を中心に計上しています。

（２）当初予算の規模

一般会計当初予算の規模 7,707 億円

令和 6 年度当初予算は骨格予算として編成したため、当初予算の規模は、前年度比 1,428 億円の減（▲15.6%）となりました。

なお、同じく骨格予算として編成した令和 2 年度と比べ、552 億円の増加となります。これは、感染症対策関連の制度融資に係る金融機関への預託金を計上しているほか、義務的経費である人件費、扶助費、公債費、投資的経費のうち災害復旧事業費が増加していることが主な要因です。



（３）当初予算の特色

1 令和 2 年 7 月豪雨からの創造的復興

166 億円

被災者の暮らし・生活の再建や被災地域の一日も早い復旧・復興に向けた取り組みに必要な予算を計上。

2 感染症対策関連

328 億円

感染拡大防止策や新興感染症対応等に必要な予算を計上。

3 熊本地震からの創造的復興

120 億円

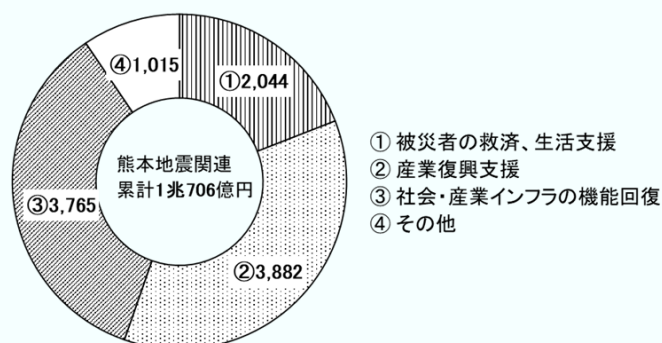
被災者の暮らし・生活の再建や創造的復興の推進に必要な予算を計上。

【平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨災害への対応（累計予算額）】

熊本地震への対応

○平成28年度～令和6年度当初予算までの累計額は1兆706億円

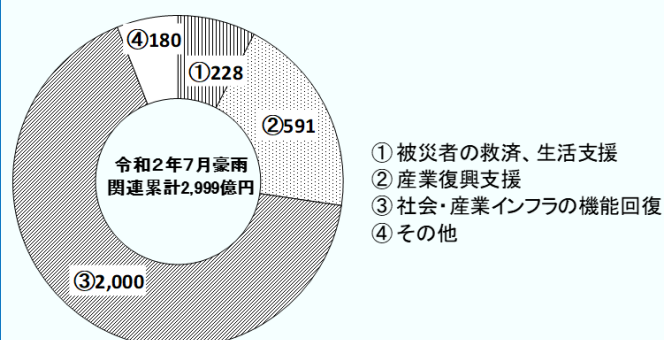
- ・令和5年度2月補正予算までの累計予算額：1兆586億円
- ・令和6年度当初予算額：120億円



豪雨災害への対応

○令和2年度7月補正～令和6年度当初予算までの累計額は2,999億円

- ・令和5年度2月補正予算までの累計予算額：2,833億円
- ・令和6年度当初予算額：166億円



※表示単位未満の端数処理の関係で図中の計算が合わないことがある

参考 特別会計予算の内容

県が特定の事業を行う場合、その経理を明確にするために、一般の歳入歳出と区分して、法令や条例により設置された会計を特別会計といいます。

本県では、中小企業振興資金特別会計をはじめ15の特別会計があり、その令和6年度（2024年度）当初予算額の合計は、3,254億20百万円となっています。

令和6年度（2024年度）特別会計の当初予算の詳細は、付表3（37ページ）のとおりです。